

5月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和7年5月末現在〕

令和7年6月17日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「売上高」、「収益状況」のいずれも前年同月比は悪化し、前月比では「景況」と「収益状況」は改善したが、「売上高」は変化がなかった。

業種別でみると、「景況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比は製造業は改善したが、非製造業は悪化した。「売上高」の前年同月比は製造業は変化がなかったが、非製造業は悪化した。前月比は製造業は改善したが、非製造業は悪化した。「収益状況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比は製造業は改善し、非製造業は悪化した。

前月同様、米価やエネルギー価格等の高値が続いており、収益が圧迫されているとの報告が見られた。

景況DI

全体では、前月比 8.2ポイント改善の▲20.4ポイント、製造業は、前月比 20.0ポイント改善の▲16.0ポイント、非製造業は、前月比 4.2ポイント悪化の▲25.0ポイントとなった。

売上高DI

全体では、前月比 変化なしの▲4.1ポイント、製造業は、前月比 36.0ポイント改善の0.0ポイント、非製造業は、前月比 37.5ポイント悪化の▲8.3ポイントとなった。

収益状況DI

全体では、前月比 8.2ポイント改善の▲20.4ポイント、製造業は、前月比 20.0ポイント改善の▲20.0ポイント、非製造業は、前月比 4.1ポイント悪化の▲20.8ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	学校給食パン	パン給食の回数減少、製造コストの増加、製造機械設備の老朽化を理由として学校給食パン事業から撤退を申し出る組合員が昨年度1名あり、本年度末にも1名出る予定。今後、学校給食パンを提供することができない地域が出てくること避けられない状況。	
	食料品	清酒 ○県内全体の課税移出数量・業界全体の状況 当県における4月の清酒課税移出数量は、対前年同月比102%となった。本格焼酎については、対前年96.7%となった。清酒については、4ヶ月連続で対前年同月比を上回り、下げ止まったと感じている。晩酌や居酒屋で多く消費される普通酒が減り、値段の高い吟醸酒が伸びていることから、高収入の日本酒愛好家が、購入しているものと考えられる。 ○県内当業界について 5月に発表された令和6年度酒造年度の南部社氏自醸清酒鑑評会にて今年も浦里酒造店と森島酒造が全国2位と3位に入った。昨年も同店同順位で、連続の上位入賞となったことにより、茨城の酒の高品質を全国にPRすることができた。 また、今年の全国新酒鑑評会(明治時代からの日本で一番権威のある鑑評会)で茨城では9歳が入賞し、うち4歳が金賞を受賞。金賞は昨年より1歳増加する結果となった。 そして、外務省で評価の高いフランスのIWC(インターナショナルワインチャレンジ)日本酒部門において、純米大吟醸酒で府中誉が、大吟醸酒で愛友酒造がそれぞれゴールドメダルを獲得した。	
	納豆	・人手不足により工場稼働率が低下している。 ・原材料、人件費上昇分のコストを十分に価格転嫁できていないため、利益が圧迫されている。	
	菓子	季節ごとの代表的なお菓子を食するという風潮が薄らいでいるため、子供の日の代表菓子である柏餅の売上高は伸びず、前年並みであった。 第28回全国菓子大博覧会が北海道旭川市で5月30日から6月15日まで開催。	
	漬物	組合員数は、20年前から46社減少し、現在18社である。 組合員から露店販売やイベント出店の機会が減少し、経営にも影響しているとの声が出ている。	
	繊維工業	外衣シャツ 縫製業の経営状況は決して良い状況ではなく、営業利益は減少している。	
	木材・木材製品	製材	・国産材製品は、スギ、ヒノキともに若干の製品不足感がある。価格については高値安定で推移した。 ・外材は入荷量は横ばい、価格は値上がり傾向で推移した。 ・原木については、スギが値下がり傾向にあり、ヒノキは横ばいで推移した。
		県北地区プレカット	月間加工坪数目標(1,000坪)は100%達成した。 6月の加工予定は、初旬から中旬前半に集中(23棟ほど)し、中旬後半～下旬は空きがある状況。 木材費は、高値安定を維持している。
	紙・紙加工品	段ボール 大手企業の段ボールの生産量は、数%減少でとどまっているが、中小企業は3%~10%ほど生産量が落ちてきている。 生産量は3年連続で減少しており、収益確保が厳しい状況。段ボール産業の出荷量が減っているということは、世の中の物の動きが悪いことを意味するため、日本の景気が今後どうなっていくのか心配	
	印刷	総合印刷 紙を中心とする仕入資材の値上がり分を十分に価格に転嫁できていないことに加え、需要が低迷し、収益状況と資金繰りが厳しくなっている。	
窯業・土石製品	陶磁器 4月下旬から5月初旬にかけて開催した陶炎祭は、昨年同等の入場者があったなど盛況であったため、組合員にとっても大きな収入源となった。		

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	鉄鋼・金属	鉄鋼 5月は大型連休があり、例年、売上高は減少するが、本年はさらに悪化し、前年度比1割程度減少。金属材料は高値で推移しており、工業用薬品価格についても値上がりしている状況。
	一般機器	生産用機械 ・対象7組合員（製造会社）の売上状況は、増加（対前年同月比）は2社、減少（対前年同月比）は5社となった。全体の増減率は102%となった。 ・団地全体の売上高は1年3ヶ月ぶりに前年同月を上回ったが、7社中5社は前年同月比を下回っているため、好転までは至っていない状況。 ・団地全体の従業員数は、派遣社員数の減少が続いていることから前年同月比では減少しているが、ここ4カ月ではほぼ増減がない状況となっている。
	輸送用機器	県北地区自動車部品 生産高の減少傾向はやや緩和しているものの、先が見通せない状況となっている。
卸売業	生鮮魚介	・精算所取扱高が前年同月比1.79%増加した。 ・月初めの営業日（ゴールデンウィークの中日）は荷動きがよかったが、連休明けから月末までは、厳しい状況が続いている。 ・商品単価の上昇、鮮魚等の不漁の話もあがっているため、今後も厳しい状況が予想される。
	袋セメント	袋セメントの5月度出荷数量は24千袋、前年同月比97.4%の実績となった。 圏央道関連の大型工事がピークアウトしたことや原材料価格の高止まり等を背景に住宅・アパート着工件数が減少している中、県南地区で大規模改修工事等の案件が寄与し、概ね前年同月並みの実績となった。
	鹿行地区共同店舗	売上高は99.44%、来客数は100.23%（ともに対前年同月比）であった。 ・5月5日・6日にガラポン等のイベントを開催した。
	県南地区共同店舗	売上高が対前年度比104.56%であった。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	小売業	燃料	燃料油価格の上昇を抑える国の支援策(燃料油価格定額引下げ措置)が5月22日からスタートし、仕入れ価格が約5円程度値下がりし(前年度対比+4.5)、石油製品小売市況調査でも茨城県の5月19日から5月26日の調査で4.6円値下がりした。22日以降毎週ごとに1円ずつ追加し、最大10円(ガソリン・軽油は10円。灯油、重油は5円まで)に達するまで補助金が投入される仕組み。メディア等の報道で最初から10円下がると勘違いをされる消費者もいたようだが、店頭にさほど混乱は起きなかった。しかし、消費者から勘違いをされないよう、高い在庫を抱えたまま価格をさげなければならなくなってしまった組合員もあり、人件費の上昇、物価上昇分の費用を価格転嫁することが難しくなっており、採算販売ができにくい状況となっている。また、値段が下がりつつあるため、消費者の買い控えが行われているのかと感じるほど消費が減少しており、経営状況は厳しい状況にある。
		二輪自動車	・毎年、5月の大型連休が明けると売上高は減少傾向になる。 ・メーカーが販売商品の与信枠を半額にするよう取引条件を厳しくしてきている。
		スポーツ用品	・日立の商店街も最近、閉店する店舗が増加し、シャッター通りになりつつある。市役所などでも空き店舗対策に動いてもらっているが、実績が伴っていない状況。
		中古自動車	販売価格(前年同月比)は100.3%と横ばいだったが、販売台数(前年同月比)は122.0%と前年に対して2割強の増加となり、売上高も122.3%と大きく上昇した。今年度に入り、中古車流通市場が円高基調の為替相場や米国の関税措置の影響で、輸出業者と価格競争が鈍化したため、国内の小売業者にとっては仕入をしやすい環境となっている。
		野菜・果実	5月の野菜果実の取扱高(対前年度比)は96.8%となった。過去5年間の平均と比較しても97.3%となった。適度な日照時間と降雨が続いたため、生育は良好。出荷については安定して単価安となった品目が多かったため、結果的に売上高も減少した。果実に関しては、茨城県産のメロンが流通し始めたため、メロンの購買を主としている組合員の買い上げが増えている。
商店街	水戸	昨年度減少した売上が少し戻り、売上高が微増した。	
	筑西	米をはじめとする原材料費の高騰が著しい	
非 製 造 業	サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車・軽自動車ともに微増となった。車検台数は、対前年度比としては若干増加しているが、コロナ化における落ち込みは、解消されていない。整備に必要な油脂類並びに機器の高騰により収益面での悪化が懸念される。
		旅館、ホテル	全体的に人手不足が見受けられるとともに、人材確保が厳しい状況となっている。笠間地区ではインバウンドとビジネス需要が増加したため、売上が向上している。日立地区ではインバウンドが全く来っていない状況であり、宿泊単価が上昇したが、客数が減少している。人手不足も深刻化している状況。つくば地区ではコロナ化を抜け上昇トレンドに入っていて好調となっている。北茨城地区ではあんこうが終わった4月以降閑散としており、インバウンドは皆無な状況。客層は年配層が多く、若者は少ない状況となっている。
		ビル管理	売上高は増加しているが、引き続き労務費・資機材消耗品等の上昇により利益の増加には至っていない。
建設業	総合	県及び市の公共事業に対する予算減少により発注予定件数、金額が減少しているため、業績の見通しが非常に厳しい状況となっている。	
	県央地区管工事	所属組合員から、人手不足を課題とする声があがってきている。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
運輸業	軽貨物自動車	5月の組合員数は96名、車両台数は126台で前月と比較し、増減なし。 また、運送売上高については、前年同月比112.9%の増加となった。 全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会の5月の組合員数は5,864名で25名減(前月比)、車両台数は7,024台で28台減(前月比)となっている。
	一般貨物自動車	輸送運賃は多少値下げされたものの、発送物量が低調となっていること、人員が減少していることにより売上が減少し、収益も悪化となった。 5月下旬より燃料価格激変緩和補助金により燃料価格は多少減少したが、未だ高値の状況となっている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食回数増
	清酒	昨年からの急激な米価格の高騰により加工業者は苦境に陥っている。行政には米価の歴史的な高騰により経営が圧迫されている酒造への原料米購入資金の補助金の検討をお願いしたい。
	漬物	茨城県主催の食品関係のイベントの開催
小売業	燃料	<ul style="list-style-type: none"> 揮発油に課税している二重課税の廃止 燃料油補助に対する消費者に対する十分な説明、補助事業の今後の見通しの事業者向けの説明 物価上昇、円安への対策
サービス業	旅館・ホテル	<ul style="list-style-type: none"> 売上げは伸びているが燃料費・材料費・人件費の高騰で利益が下がってきている。建築資材も高騰していて建物の設備改修が間に合いません。ホテル旅館枠で改修費用についてのサポートがあると助かります。 設備投資よりも老朽化(経年劣化)設備の修繕にかかる負担が大きく、補助が欲しい 茨城県に人が集まるような機会や切っ掛けを積極的に増やし、県内業界が活発に動くようなチャンスと需要を作って欲しいと思います。
建設業	総合	公共工事予算の確保

月次景況調査 5月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	5月	4月	前月比	5月	4月	前月比	5月	4月	前月比
景 況	▲ 20.4	▲ 28.6	8.2	▲ 16.0	▲ 36.0	20.0	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 4.2
売 上 高	▲ 4.1	▲ 4.1	0.0	0.0	▲ 36.0	36.0	▲ 8.3	29.2	▲ 37.5
収 益 状 況	▲ 20.4	▲ 28.6	8.2	▲ 20.0	▲ 40.0	20.0	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 4.1
販 売 価 格	22.4	28.6	▲ 6.2	16.0	8.0	8.0	29.2	50.0	▲ 20.8
取 引 条 件	▲ 6.1	▲ 6.1	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 8.3	▲ 8.3	0.0

中小企業月次景況調査(令和7年5月)DI値(前年同月比)

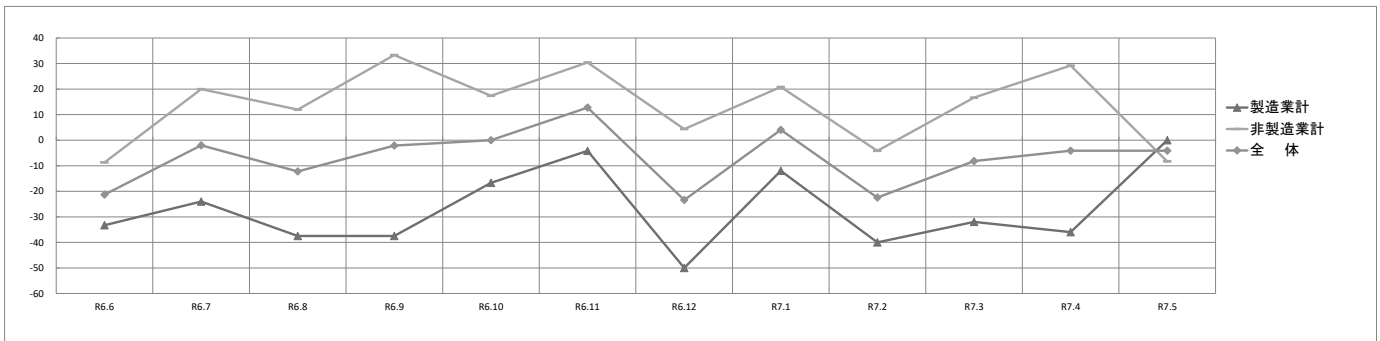
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)												
		増加	不変	減少		業界数	増加	不変		減少	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化		業界数	好転	不変		悪化	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数					
製造業	食料品	△ 12.5	1	5	2	8	△ 25.0	0	6	2	8	50.0	4	4	0	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 25.0	0	6	2	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 37.5	0	5	3	8
	繊維工業	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	木材・木製品	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	0.0	1	2	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	△ 25.0	1	1	2	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	1	2	1	4
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1
	電気機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2
	輸送機器	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
	製造業計	0.0	4	17	4	25	△ 20.0	0	20	5	25	16.0	5	19	1	25	△ 4.0	1	22	2	25	△ 20.0	2	16	7	25	△ 20.0	0	20	5	25	△ 20.0	0	20	5	25	△ 20.0	0	20	5	25	△ 16.0	2	17	6	25
非製造業	卸売業	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
	小売業 (商店街含む)	△ 27.3	1	6	4	11	0.0	0	11	0	11	18.2	3	7	1	11	△ 9.1	1	8	2	11	△ 9.1	1	8	2	11	0.0	0	11	0	11	0.0	0	11	0	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 9.1	1	8	2	11
	サービス業	66.7	2	1	0	3					66.7	2	1	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	
	建設業	△ 20.0	0	4	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	
	運輸業	0.0	1	0	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	
	非製造業計	△ 8.3	5	12	7	24	△ 7.1	0	13	1	14	29.2	8	15	1	24	△ 8.3	1	20	3	24	△ 20.8	1	17	6	24	△ 4.2	0	23	1	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 25.0	1	15	7	24					
全体	△ 4.1	9	29	11	49	△ 15.4	0	33	6	39	22.4	13	34	2	49	△ 6.1	2	42	5	49	△ 20.4	3	33	13	49	△ 12.2	0	43	6	49	△ 20.0	0	41	8	49	△ 16.3	0	41	8	49	△ 20.4	3	32	13	49	

D I 値推移表 (R6.6月 ~ R7.5月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5
食料品製造業	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	14.3	▲ 42.9	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 12.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 71.4	▲ 11.1	▲ 41.2	▲ 35.3	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 17.6	▲ 47.1	▲ 35.3	▲ 35.2	5.8
製造業計	▲ 33.3	▲ 24.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 50.0	▲ 12.0	▲ 40.0	▲ 32.0	▲ 36.0	0.0
卸売業	▲ 66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	0.0
小売業(商店街含む)	18.2	30.8	7.7	50.0	27.3	54.5	9.1	45.5	9.1	9.1	54.5	▲ 27.3
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	33.3	33.3	66.7	100.0	66.7
建設業	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 8.7	20.0	12.0	33.3	17.4	30.4	4.3	20.8	▲ 4.2	16.7	29.2	▲ 8.3
全体	▲ 21.3	▲ 2.0	▲ 12.2	▲ 2.1	0.0	12.8	▲ 23.4	4.1	▲ 22.4	▲ 8.2	▲ 4.1	▲ 4.1

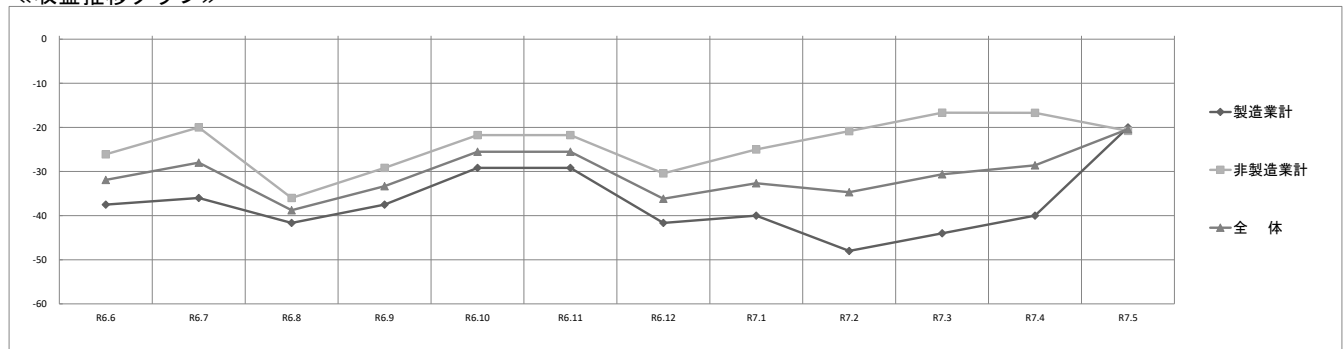
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5
食料品製造業	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.2	▲ 33.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 47.1	▲ 47.1	▲ 29.4	▲ 11.7
製造業計	▲ 37.5	▲ 36.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 44.0	▲ 40.0	▲ 20.0
卸売業	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 23.1	▲ 46.2	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1
サービス業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 26.1	▲ 20.0	▲ 36.0	▲ 29.2	▲ 21.7	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 20.8
全体	▲ 31.9	▲ 28.0	▲ 38.8	▲ 33.3	▲ 25.5	▲ 25.5	▲ 36.2	▲ 32.7	▲ 34.7	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 20.4

《収益推移グラフ》

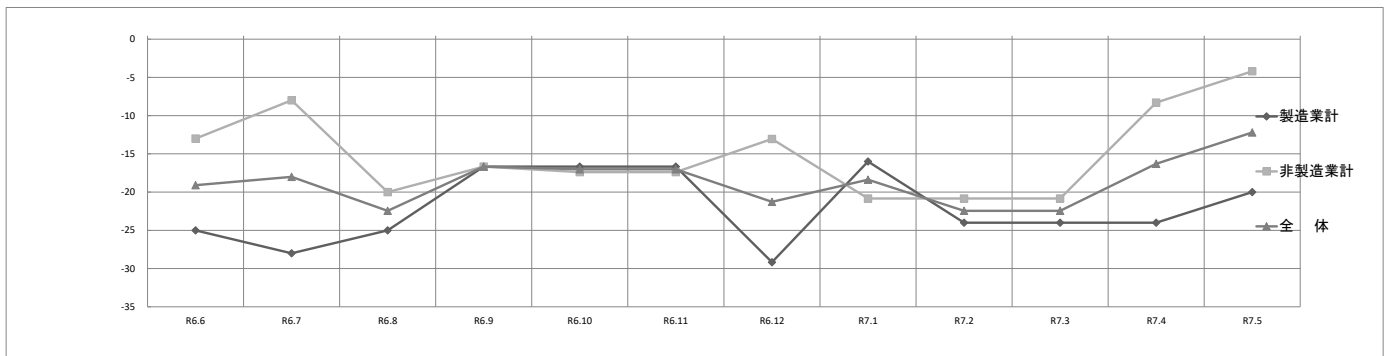


D I 値推移表 (R6.6月 ~ R7.5月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5
食品品製造業	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5
製造業(食品品製造業以外)	▲ 17.6	▲ 16.7	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 17.6	▲ 17.6	▲ 11.7	▲ 11.7
製造業計	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 20.0
卸売業	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 9.1	0.0
サービス業	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 13.0	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 13.0	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 4.2
全体	▲ 19.1	▲ 18.0	▲ 22.4	▲ 16.7	▲ 17.0	▲ 17.0	▲ 21.3	▲ 18.4	▲ 22.4	▲ 22.4	▲ 16.3	▲ 12.2

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5
食品品製造業	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 37.5
製造業(食品品製造業以外)	▲ 47.0	▲ 33.3	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 5.8
製造業計	▲ 45.8	▲ 36.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 16.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 9.1
サービス業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	33.3	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 30.4	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.4
全体	▲ 38.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 27.1	▲ 21.3	▲ 27.7	▲ 31.9	▲ 28.6	▲ 34.7	▲ 34.7	▲ 28.6	▲ 28.6

《景況推移グラフ》

